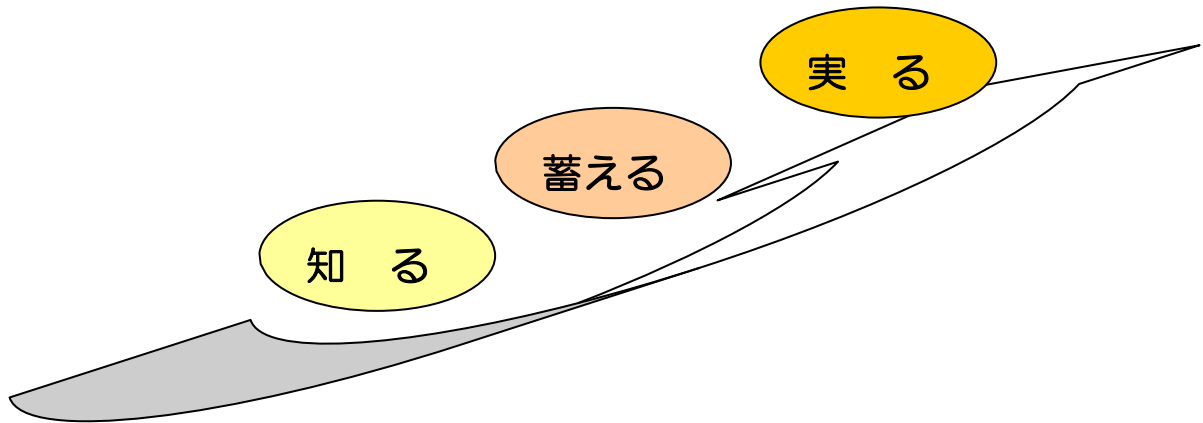


進路に関する情報や自分の適性を「知る」（1年次）、調べた情報を基に、進路を実現するための力を「蓄える」（2年次）、蓄えた力で進路実現して「実る」（3年次）、それぞれの学年が陸上競技の種目「三段跳び」で言うホップ・ステップ・ジャンプに当てはまります。



「知る」とは「ある現象・状態を広く隅々まで自分のものとする意」（広辞苑）

「蓄える」とは「金銭・品物・体力などを後の用のためにためておく。あつめて大切にしまっておく。」（広辞苑）

「実る」とは「①草木が実を結ぶ。（中略）②成果があがる。「努力が実って成功する」実るほど頭の下がる稲穂かな 学識や徳行が深まると、その人柄や態度が謙虚になることにたとえる。」（広辞苑）

<<<< 進路実現のための目標 >>>>

学校の教育活動全体を通して、一人ひとりが自己の能力、適性などへの認識を深め、社会性を培い、健全な職業観・勤労観を養う。さらに、一人ひとりが希望進路の実現に向け、学力の向上や個性の伸長を図り、自主性を育み、自己決定能力を高める。

<<<< 学年の目標 >>>>

- 1 学年（知る） 自己の能力や適性について理解を深めるとともに、進路について関心を高め、希望進路を明確にし、適切な進路計画を立てる能力と態度を育む。
- 2 学年（蓄える） 目標とする進路に関して理解を深め、進路実現のために必要な知識や資格を身につけ、希望進路の実現へ向けて努力する態度を育む。
- 3 学年（実る） 自己の能力や適性に応じた進路を主体的に決定し、その実現に向けて取り組む。さらに進路決定後は、将来の生活における自己実現に必要な能力と態度を育む。

これは、1人ひとりが進路実現を達成するための学年目標のテーマです。